

R2年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係) 学校教育課 埴生幼稚園 事務事業番号 132010402

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)		
	5	教育・文化・スポーツ	32	学校教育の推進	1	幼児教育の推進	
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	スマイルエイジング
4	幼稚園保健衛生事業	2	新型コロナウイルス感染症対策緊急環境整備事業				政策的
事業概要	新型コロナウイルス感染症対策として、教育支援体制整備事業費交付金に係る「幼児教育の質の向上のための緊急環境整備事業」(新型コロナウイルス感染症対策)を活用し、埴生幼稚園の園児用の机、配膳ワゴン、自動薬液噴霧装置、マスク、使い捨て手袋を購入し、感染症対策の環境づくりに努める。				対象	埴生幼稚園の園児	
					手段	園児用の机等の購入	
					意図	新型コロナウイルス感染予防	

事業期間	R2 年度	～	R2 年度	予算種別	新規	臨時	会計種別	一般
	H30(決算額)		R1(決算額)		R2(決算額)		R3(予算額)	
支出内訳					消耗品費	113千円		
					園用器具費	382千円		
	合計					495千円		
財源内訳 / 割合	国庫支出金				10/10	495千円		
	県支出金							
	地方債							
	その他							
	一般財源							
合計						495千円		
人工数					0.10人	580千円		
人件費								
総経費						1,075千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			H30	R1	R2	R3
1	園児用の机、配膳ワゴンの購入台数	活動			6台 6台 100%	
2						
3						

成果	新型コロナウイルス感染症対策のため必要な備品等を整備することができた。				
R4年度に向けた課題及び改善策					
目標達成度	A	R4年度に向けた方向性			
		成果	完了	コスト	R2
特記事項	R2年度だけの事業				

R2年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係) 教育総務課 総務係 事務事業番号 132020201

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	5	教育・文化・スポーツ	32	学校教育の推進	2	義務教育環境の向上		
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	スマイルエイジング	事業区分
事業概要	2	学校教育振興事業	1	理科教育設備整備事業			政策的	
	小・中学校における理科教育の充実を図るため、国の補助制度を活用し、理科の授業で使用する実験器具等を整備する。				対象	全小・中学校		
					手段	学校の要望に基づき、整備		
意図					理科教育の実践のための環境整備			

事業期間	H29以前	年度	～	R7以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
支出内訳	H30(決算額)		R1(決算額)		R2(決算額)		R3(予算額)			
	校用器具費	4,550千円			校用器具費	6,295千円	校用器具費	2,310千円	新学習指導要領改訂増加(中))	
	合計	4,550千円				6,295千円			2,310千円	
財源内訳 / 割合	国庫支出金	1/2	2,233千円			1/2	3,121千円	1/2	1,155千円	
	県支出金									
	地方債									
	その他									
	一般財源		2,317千円				3,174千円		1,155千円	
合計		4,550千円				6,295千円		2,310千円		
人工数	0.20人	1,155千円	-		0.35人	2,030千円				
総経費		5,705千円				8,325千円				

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			H30	R1	R2	R3
1	整備した実験器具等の数	活動	-		-	-
			169点		303点	
			-		-	
2	市内小・中学校の平均整備率(国の基準金額と比較)	活動	0.37		0.38	0.385
			0.376		0.389	
			101.6%		102.4%	
3						

成果	各学校が必要としている備品を整備することができた。 また、小学校の学習指導要領の改訂に対応する備品も整備することができた。				
R4年度に向けた課題及び改善策	補助率1/2の事業であるため整備率を大幅に上げることは難しいが、国が示す重点設備を中心に整備し、理科教育の充実を図る。				
目標達成度	A	R4年度に向けた方向性			
		成果	現状維持	コスト	現状維持
特記事項					

R2年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係) 教育総務課 学校施設係 事務事業番号 132020202

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)		
	5	教育・文化・スポーツ	32	学校教育の推進	2	義務教育環境の向上	
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	スマイルエイジング
事業概要	2	学校教育振興事業	2	通学援助事業			政策的
	厚狭小学校は昭和50年3月に川上・森広分校が閉校され当時1年生から4年生までの児童が在籍し、埴生小学校では、昭和51年3月に福田分校が閉校され1年生と2年生の児童が在籍していた。閉校時に分校に関する協定書を締結し厚狭小学校は小学校4年生までの児童、埴生小学校は2年生までの児童を送迎することとし、バスの無料パスカードを発行している。 令和2年度より、両校の対象地区の全学年を対象を拡大し、通学路の安全の確保を図るとともに、通学費の保護者負担を軽減する。				対象	遠距離通学をしている児童・保護者	
					手段	バス等通学希望者にパスカードを交付する	
				意図	通学路の安全確保を図り、保護者の負担を軽減する		

事業期間	R2 年度	～	R7以降 年度	予算種別	新規	臨時	会計種別	一般
支出内訳	H30(決算額)		R1(決算額)		R2(決算額)		R3(予算額)	
			通信運搬費	183千円	通信運搬費	229千円	通信運搬費	560千円
					※経常要求分	191千円	(経常経費)	
	合計			183千円		420千円		560千円
財源内訳 / 割合	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他							
	一般財源			183千円		420千円		560千円
合計			183千円		420千円		560千円	
人工数 人件費			0.01人	57千円	0.01人	57千円		
総経費			240千円		477千円			

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			H30	R1	R2	R3
1	現在の基準での対象児童数 (厚狭北部1～4年、福田1、2年)	活動		5	5	4
				5	5	
				100%	100%	
2	追加で補助をする児童数 (厚狭北部5、6年、福田3～6年)	活動			6	9
					6	
					100%	
3						

成果	厚狭北部は4年生まで、福田は2年生までバスの無料パスカードを発行していたが、令和2年度から地元要望により対象学年を6年生までに拡大した。これにより該当地区全児童の通学時の安全確保と保護者の通学費の負担軽減に繋がった。				
R4年度に向けた課題及び改善策	バスの厚狭北便について、減便が検討されているため関係課との協議が必要である。				
目標達成度	A	R4年度に向けた方向性			
		成果	現状維持	コスト	現状維持
特記事項					

R2年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係) 教育総務課 学校施設係 事務事業番号 132020318

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)		
	5	教育・文化・スポーツ	32	学校教育の推進	2	義務教育環境の向上	
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	スマイルエイジング
事業概要	3	学校施設整備事業	18	学校施設PCB含有物処理			義務的
	須恵小と埴生中の低濃度PCBを含んだトランス及びコンデンサをポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法の規定により計画的、適正に処理する。				対象	PCB含有物処理	
					手段	業者委託	
					意図	施設の適正な維持管理	

事業期間	R2 年度	～	R2 年度	予算種別	新規	臨時	会計種別	一般
	H30(決算額)		R1(決算額)		R2(決算額)		R3(予算額)	
支出内訳					・須恵小委託料	145千円		
					・埴生中委託料	167千円		
					運搬料	247千円		
	合計					559千円		
財源内訳 / 割合	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他							
	一般財源						559千円	
合計						559千円		
人工数					0.01人	57千円		
総経費						616千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			H30	R1	R2	R3
1	PCB含有物処理	活動			処分実施 処分実施 100%	
2						
3						

成果	ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法に基づき低濃度PCBを専門業者に委託して適正に処分した。					
R4年度に向けた課題及び改善策						
目標達成度	A	R4年度に向けた方向性				
		成果	完了	コスト	R2	
特記事項						

R2年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係) 学校給食センター 管理係 事務事業番号 132020403

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)		
	5	教育・文化・スポーツ	32	学校教育の推進	2	義務教育環境の向上	
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	スマイルエイジング
事業概要	4	学校給食事業	3	学校給食費公会計導入事業			行政内部管理
	多忙を極める教員の働き方改革の一環として、学校による学校給食費の徴収業務を教育委員会の業務として位置づけ、教員の負担軽減を図るとともに、学校給食費会計の透明性の向上を図るため、文部科学省のガイドラインに基づき、公会計システムを導入する。令和2年度はシステムの導入作業を行い、令和3年度から公会計に移行する。				対象	学校給食費会計(私会計)	
					手段	学校給食費を一元管理する給食費管理システムを構築	
意図					教員の負担軽減と学校給食費会計の透明性の向上		

事業期間	R2 年度	～	R7以降 年度	予算種別	新規	臨時	会計種別	一般
	H30(決算額)		R1(決算額)		R2(決算額)		R3(予算額)	
支出内訳					印刷製本費	585千円	消耗品費	46千円
							印刷製本費	381千円
							賄材料費	273,275千円
							通信運搬費	1,081千円
							手数料	1,606千円
							委託料	2,442千円
合計						585千円	使用料及び賃借料	1,584千円
財源内訳 / 割合	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他						雑入	270,545千円
	一般財源					585千円		9,870千円
合計					585千円		280,415千円	
人工数					1.20人	6,959千円		
総経費						7,544千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			H30	R1	R2	R3
1	公会計システムの導入	活動			完了 完了 100%	-
2	学校給食費の収納率	成果				100%
3						

成果	令和2年度に学校給食費システムの導入を完了し、令和3年度より学校給食費システムの運用を開始することができた。					
R4年度に向けた課題及び改善策	学校給食費の滞納者への対策として法的措置を取らざるを得ないことも考慮し、法定手続きの準備をしておく必要がある。					
目標達成度	A	R4年度に向けた方向性				
		成果	拡充	コスト	拡大	
特記事項	令和3年度より、事務事業名を学校給食費管理事業に変更する。					

R2年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係)	学校教育課	学務係	事務事業番号	132020601
------------	-------	-----	--------	-----------

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	5	教育・文化・スポーツ	32	学校教育の推進	2	義務教育環境の向上		
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	スマイルエイジング	事業区分
事業概要	6	学校教育振興事業	1	教科書改訂に伴う教師用教科書・指導書整備事業			義務的	
	4年に1回教科書が改訂されることに伴い、改訂される全科目の教師用教科書と指導書等を整備する。また、新たに教科化された道徳・小学校英語についても教師用教科書と指導書等を整備する。購入冊数は、教師用教科書はクラス数とし、指導書等は、教科ごとに各学年1セットとする。				対象	小・中学校の教職員		
					手段	教科書改訂に伴い、必要な教科書・指導書等を購入する。		
意図					教師用教科書・指導書等を活用することにより、学習指導要領に沿った適切な指導を行えるようにする。			

事業期間	H29以前	年度	～	R7以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
支出内訳	H30(決算額)		R1(決算額)		R2(決算額)		R3(予算額)			
	消耗品費	1,831千円	消耗品費	581千円	消耗品費	19,171千円	消耗品費	7,025千円		
	合計	1,831千円		581千円		19,171千円		7,025千円		
財源内訳/割合	国庫支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他									
	一般財源	1,831千円		581千円		19,171千円		7,025千円		
合計	1,831千円		581千円		19,171千円		7,025千円			
人工数	0.10人	578千円	0.15人	866千円	0.10人	580千円				
総経費		2,409千円		1,447千円		19,751千円				

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			H30	R1	R2	R3
1	教師用教科書購入数	活動	166冊	67冊	1,482冊	3,524冊
			166冊	67冊	1,482冊	
			100%	100%	100%	
2	指導書等の購入数	活動	34セット	28セット	972セット	192セット
			34セット	28セット	972セット	
			100%	100%	100%	
3						

成果	R2年度は教科書改訂の年にあたり、小学校の教師用教科書や指導書等を全学校に整備することができた。				
R4年度に向けた課題及び改善策					
目標達成度	A	R4年度に向けた方向性			
		成果	現状維持	コスト	現状維持
特記事項	次回改訂は小学校はR6年度、中学校はR7年度の予定。				

R2年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係) 学校教育課 学務係 事務事業番号 132020602

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)		
	5	教育・文化・スポーツ	32	学校教育の推進	2	義務教育環境の向上	
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	スマイルエイジング
事業概要	6	学校教育振興事業	2	教科書採択に係る諸会議開催事業			義務的
	4年に1回教科書が改訂されるため、改訂の前年に教科書の調査研究協議・選定を行う必要があり、山陽小野田市と宇部市で共同で設置する調査研究協議会と、本市のみで設置する教科書選定会議を開催する。				対象	小中学校教員で構成する教科書調査研究・選定委員会委員	
					手段	各教科ごとに会議を開催する	
				意図	使用する教科用図書についての研究調査		

事業期間	H29以前	年度	～	R7以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般	
支出内訳	H30(決算額)		R1(決算額)		R2(決算額)		R3(予算額)				
	費用弁償		21千円	費用弁償		51千円	普通旅費		20千円		
	合計		21千円		51千円		20千円				
財源内訳 / 割合	国庫支出金										
	県支出金										
	地方債										
	その他										
	一般財源		21千円		51千円		20千円				
合計		21千円		51千円		20千円					
人工数	0.10人			0.15人			0.10人				
人件費		578千円			866千円			580千円			
総経費		599千円			917千円			600千円			

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			H30	R1	R2	R3
1	会議の開催回数	活動	31回	92回	24回	
			31回	92回	24回	
			100%	100%	100%	
2	調査研究・選定委員会の委員数	活動	23人	43人	30人	
			23人	43人	30人	
			100%	100%	100%	
3						

成果	令和3から6年度使用の中学校の教科書採択のための会議を法令に従い実施した。				
R4年度に向けた課題及び改善策	令和4年度まで教科書採択の会議は開催しない予定。				
目標達成度	A	R4年度に向けた方向性			
		成果	現状維持	コスト	現状維持
特記事項	次回の小学校の教科書採択のための会議は令和5年度、中学校は令和6年度に実施する予定。				

R2年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係) 学校教育課 学務係 事務事業番号 132020605

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	5	教育・文化・スポーツ	32	学校教育の推進	2	義務教育環境の向上		
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	スマイルエイジング	事業区分
6	学校教育振興事業	5	修学旅行のキャンセル料等補助事業				政策的	
事業概要	新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、市内の小・中学校が修学旅行を中止又は延期したことにより発生したキャンセル料等について、保護者の経済的な負担軽減を図るため、補助金を支給し財政的な支援を行う。 また、生徒の修学旅行における引率教員の経費のうち、旅費対象外経費を補助することにより、引率教員の個人負担の軽減を図る。				対象	旅行者等から請求を受ける学校の学校長		
					手段	補助金の交付		
					意図	保護者の経済的負担の軽減及び引率教員の個人負担の軽減		

事業期間	R2 年度	～	R2 年度	予算種別	新規	臨時	会計種別	一般
	H30(決算額)		R1(決算額)		R2(決算額)		R3(予算額)	
支出内訳					修学旅行キャンセル等補助金	1,627千円		
	合計					1,627千円		
	財源内訳 / 割合				10/10	1,000千円		
	国庫支出金							
	県支出金							
地方債								
その他								
一般財源						627千円		
合計						1,627千円		
人工数					0.10人	580千円		
人件費								
総経費						2,207千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			H30	R1	R2	R3
1	対象児童数(小学校1校分)	活動			- 98人	
2	対象児童数(中学校6校分)	活動			- 499人	
3	引率教員(中学校6校分)	活動			- 34人	

成果	保護者の経済的負担の軽減により、子育て支援の充実を図った。					
R4年度に向けた課題及び改善策						
目標達成度	A	R4年度に向けた方向性				
		成果	完了	コスト	R2	
特記事項						

R2年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係) 学校教育課 学務係 事務事業番号 132020718

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)		
	5	学校教育の推進	32	学校教育の推進	2	義務教育環境の向上	
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	スマイルエイジング
事業概要	7	学校ICT環境整備事業	18	GIGAスクールサポーター配置事業	2-(3)		政策的
	GIGAスクール構想により、令和2年度中に全小・中学校に高速LANとすべての児童生徒に1人1台端末が整備される。この教育現場における大幅なICT環境の変化に現場の教員が対応できて、タブレット端末等ICT機器を効果的に活用した授業を行えるように市内小・中学校にICT支援技術を有した人員を配置し、教員がタブレット端末を活用した授業を行う際の導入支援をする				対象	児童生徒及び教職員	
	とともに、教員のICT活用指導力と情報セキュリティ意識の向上支援、児童生徒用の仕様マニュアルの作成等、1人1台端末が有効に活用されるための基盤をつくる。				手段	GIGAスクールサポーターの配置	
				意図	1人1台端末を活用した効果的な授業を行うための基盤をつくる。		

事業期間	R2 年度	～	R4 年度	予算種別	新規	臨時	会計種別	一般
支出内訳	H30(決算額)		R1(決算額)		R2(決算額)		R3(予算額)	
					GIGAスクールサポーター委託料	2,448千円	人材派遣委託料	14,688千円
	合計					2,448千円		14,688千円
財源内訳 / 割合	国庫支出金				1/2,10/10	2,223千円	1/2	7,344千円
	県支出金							
	地方債							
	その他					225千円		7,344千円
	一般財源							
合計					2,448千円		14,688千円	
人工数					0.30人	1,740千円		
人件費								
総経費						4,188千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			H30	R1	R2	R3
1	配置人数	活動			1名 1名 100%	2名
2						
3						

成果	全小・中学校への端末の配備に伴い、マニュアルの作成、研修の実施等を行い、各学校が有効活用できる基盤が整った。				
R4年度に向けた課題及び改善策	アカウントの移行作業、端末のクラウド接続に伴う不調等専門の知識が必要な作業があることや端末を有効活用するために各学校において支援の要望も多いことから支援員の配置は必要である。				
目標達成度	A	R4年度に向けた方向性			
		成果	現状維持	コスト	現状維持
特記事項					

R2年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係) 学校教育課 学務係 事務事業番号 132020720

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	5	学校教育の推進	32	学校教育の推進	2	義務教育環境の向上		
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	スマイルエイジング	事業区分
事業概要	7	学校ICT環境整備事業	20	GIGAスクールにおける家庭学習推進事業			政策的	
	インターネットに接続する環境のない家庭に対して、モバイルルーターを貸与し、1人1台の端末を活用した家庭における学習を推進する。				対象	児童、生徒及びその家族		
					手段	モバイルルーターの貸与		
意図					端末を活用した学習の充実			

事業期間	R2 年度	～	R7以降 年度	予算種別	新規	臨時	会計種別	一般
支出内訳	H30(決算額)		R1(決算額)		R2(決算額)		R3(予算額)	
					通信運搬費	4,083千円	通信運搬費	16,334千円
					機械器具費	6,228千円		
	合計					10,311千円		16,334千円
財源内訳 / 割合	国庫支出金				10/10	4,260千円		
	県支出金							
	地方債							
	その他							
	一般財源					6,051千円		16,334千円
合計					10,311千円		16,334千円	
人工数	人件費				0.20人	1,160千円		
総経費						11,471千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			H30	R1	R2	R3
1	小学校回線数	活動			267回線	267回線
					267回線	
					100%	
2	中学校回線数	活動			163回線	163回線
					163回線	
					100%	
3	モバイルルーター整備台数	活動			430台	430台
					430台	
					100%	

成果	家庭へのアンケート調査を実施し、通信環境の整わない状況を調査結果にしたがって、貸出用ルーターを令和3年2月に整備をした。令和2年度は学校において通信環境のない特別教室等においてルーターを使用することができた。					
R4年度に向けた課題及び改善策	家庭での学習を充実していくために、整備された情報端末を児童生徒に持ち帰らせ、家庭での活用を推進していく。					
目標達成度	A	R4年度に向けた方向性				
		成果	現状維持	コスト	現状維持	
特記事項						

R2年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係) 学校教育課 学務係 事務事業番号 132020801

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)		
	5	教育・文化・スポーツ	32	学校教育の推進	2	義務教育環境の向上	
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	スマイルエイジング
事業概要	8	特別支援教育支援事業	1	特別支援教育支援員配置事業			政策的
	特別な支援が必要な小・中学生が在籍し、担任だけでは対応しきれない状況にある学級で、学習支援を行うとともに、学級運営を安定化させるため、特別支援教育支援員を配置する。				対象	特別な支援が必要な児童生徒が在籍している学級	
					手段	特別支援教育支援員の配置	
意図					適切な学級運営の確保		

事業期間	H29以前	年度	～	R7以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
支出内訳	H30(決算額)		R1(決算額)		R2(決算額)		R3(予算額)			
	保険料	118千円	保険料	132千円	保険料	130千円	保険料	145千円		
	特別支援教育支援員	6,523千円	特別支援教育支援員	6,213千円	特別支援教育支援員	7,727千円	特別支援教育支援員	8,611千円		
	業務委託料		業務委託料		業務委託料		業務委託料			
	合計	6,641千円	合計	6,345千円	合計	7,857千円	合計	8,756千円		
財源内訳/割合	国庫支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他									
	一般財源	6,641千円	一般財源	6,345千円	一般財源	7,857千円	一般財源	8,756千円		
合計	6,641千円	合計	6,345千円	合計	7,857千円	合計	8,756千円			
人工数	0.15人	人工数	0.22人	人工数	0.15人	人工数				
人件費	867千円	人件費	1,271千円	人件費	870千円	人件費				
総経費	7,508千円	総経費	7,616千円	総経費	8,727千円	総経費				

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			H30	R1	R2	R3
1	特別支援教育支援員の配置人数	活動	18人	18人	20人	20人
			18人	16人	18人	
			100%	89%	90%	
2						
3						

成果	特別支援員の配置により、特別な支援を必要とする児童生徒に対して合理的配慮を行うことができ、当該児童生徒ばかりでなく学校全体の教育活動の充実につながった。				
R4年度に向けた課題及び改善策	特別な支援を必要とする児童生徒が増えており、障害者差別防止法により義務付けられた合理的配慮を実施するために、特別支援教育支援員の拡充の必要性については検討する。				
目標達成度	A	R4年度に向けた方向性			
		成果	現状維持	コスト	現状維持
特記事項					

R2年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係) 学校教育課 学務係 事務事業番号 132020802

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)		
	5	教育・文化・スポーツ	32	学校教育の推進	2	義務教育環境の向上	
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	スマイルエイジング
事業概要	8	特別支援教育支援事業	2	特別支援補助教員配置事業			政策的
	障害の程度が重い児童・生徒が多く通学する松原分校で、学習支援を行うとともに、学級運営を安定化させるため、特別支援補助教員を配置する。				対象	松原分校小学部・中学部	
					手段	補助教員の配置	
意図					適切な学級運営の確保		

事業期間	H29以前	年度	～	R7以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般		
支出内訳	H30(決算額)		R1(決算額)		R2(決算額)		R3(予算額)					
	保険料		7千円	保険料		7千円	保険料		7千円	保険料		7千円
	特別支援補助業務	1,151千円		特別支援補助業務	1,140千円		特別支援補助業務	1,158千円		特別支援補助業務	1,204千円	
	委託料			委託料			委託料			委託料		
	合計		1,158千円		1,147千円		1,165千円				1,211千円	
	財源内訳/割合	国庫支出金										
	県支出金											
	地方債											
	その他											
	一般財源		1,158千円		1,147千円		1,165千円				1,211千円	
	合計		1,158千円		1,147千円		1,165千円				1,211千円	
人工数	人件費	0.15人	867千円	0.06人	347千円		0.15人	870千円				
総経費			2,025千円		1,494千円			2,035千円				

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			H30	R1	R2	R3
1	特別支援補助教員の配置人数	活動	1人	1人	1人	1人
			1人	1人	1人	
			100%	100%	100%	
2						
3						

成果	松原分校には様々な障害のある児童生徒が通学しており、担任の教員だけでは十分に支援できないことについて、特別支援補助教員が児童生徒の安全確保や個別の支援に対応できている。				
R4年度に向けた課題及び改善策					
目標達成度	A	R4年度に向けた方向性			
		成果	現状維持	コスト	現状維持
特記事項					

R2年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係) 学校教育課 学務係 事務事業番号 132020902

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	5	教育・文化・スポーツ	32	学校教育の推進	2	義務教育環境の向上		
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	スマイルエイジング	事業区分
9	教職員の資質向上事業	2	指導主事配置事業				政策的	
事業概要	地方教育行政の組織及び運営に関する法律第18条第1項に基づき、教育委員会事務局に指導主事を配置している。				対象	指導主事		
					手段	市費により指導主事を配置		
					意図	学校教諭への指導等を通じて、教育力の向上を図る。		

事業期間	H29以前	年度	～	R7以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
支出内訳	H30(決算額)		R1(決算額)		R2(決算額)		R3(予算額)			
	指導主事負担金	8,902千円	指導主事負担金	8,755千円	指導主事負担金	8,785千円				
	合計	8,902千円		8,755千円		8,785千円				
財源内訳 / 割合	国庫支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他									
	一般財源	8,902千円		8,755千円		8,785千円				
合計	8,902千円		8,755千円		8,785千円					
人工数	0.15人	867千円	0.10人	578千円	-					
総経費	9,769千円		9,333千円		8,785千円					

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			H30	R1	R2	R3
1	指導主事増員数	活動	1人	1人	1人	
			1人	1人	1人	
			100%	100%	100%	
2						
3						

成果	指導主事の業務量が多いため、指導主事を1名増員しているが、時間外での業務は依然として多い。				
R4年度に向けた課題及び改善策					
目標達成度	A	R4年度に向けた方向性			
		成果	現状維持	コスト	現状維持
特記事項					

R2年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係)	学校教育課	学務係	事務事業番号	132020903
------------	-------	-----	--------	-----------

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)		
	5	教育・文化・スポーツ	32	学校教育の推進	2	義務教育環境の向上	
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	スマイルエイジング	事業区分
事業概要	9	教職員の資質向上事業	3	外国語教育推進事業	2-(3)		政策的
	ALT(外国語指導助手)を小・中学校に派遣し、教員と連携した授業を実施して英語教育の充実を図っている。学習指導要領が改訂されるため、平成30年度から、小学校5・6年生の「外国語」と、3・4年生の「外国語活動」の試行を始めた。令和2年度の本格実施を見据え、必要なALTを確保するため、令和元年度からALTを3人から5人に増員し、かつ処遇改善を図っている。				対象	児童生徒	
					手	ALT(外国語指導助手)を公募により採用し、学校に派遣する。	
				意	ALT(外国語指導助手)と触れ合うことで、外国語に親しむ。		

事業期間	H29以前	年度	～	R7以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
支出内訳	H30(決算額)		R1(決算額)		R2(決算額)		R3(予算額)			
	外国語指導助手報酬	7,200千円	外国語指導助手報酬	14,500千円	会計年度任用職員報酬	15,000千円	会計年度任用職員報酬	15,000千円	社会保険料等	2,414千円
					社会保険料等	519千円	社会保険料等			
	合計	7,200千円		14,500千円		15,519千円		17,414千円		
財源内訳/割合	国庫支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他	ふるさと支援基金	7,200千円	ふるさと支援基金	14,500千円					
	一般財源						15,519千円		17,414千円	
合計	7,200千円		14,500千円		15,519千円		17,414千円			
人工数	0.25人	1,444千円	0.10人	578千円	0.05人	290千円				
総経費	8,644千円		15,078千円		15,809千円					

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			H30	R1	R2	R3
1	ALT派遣日数	活動	450日	750日	750日	750日
			423日	223日	740日	
			94	0.297	98.67	
2	アンケートで「あなたは外国語活動の勉強は大切だと思いますか」との問いに、「そう思う」と回答した児童の割合(小学校6年生)	成果	100%	—	—	100%
			88%	—	—	
			88	—	—	
3	アンケートで「あなたは英語の授業の内容を理解していると思いますか」との問いに、「理解している」「どちらかといえば理解している」と回答した児童の割合(中学校3年生)	成果	100%	—	—	100%
			77%	—	—	
			77%	—	—	

成果	令和2年度は全国学力学習状況調査が中止されたため、指標のアンケートは実施できなかった。山口県が行った調査によると小学校6年生で「外国語の勉強が好きだ」と肯定的に回答した児童は約71%、中学校3年生で「英語の学習が好きだ」と肯定的に回答した生徒は約64%である。				
R4年度に向けた課題及び改善策	学習指導要領の改訂により、小学校3年生から外国語の学習を始めるため、授業においてネイティブスピーカーを活用したティームティーチングを行い、学級担任をサポートしていくことが求められる。				
目標達成度	B	R4年度に向けた方向性			
		成果	現状維持	コスト	現状維持
特記事項					

R2年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係) 学校教育課 学務係 事務事業番号 132020904

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	5	教育・文化・スポーツ	32	学校教育の推進	2	義務教育環境の向上		
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	スマイルエイジング	事業区分
9	教職員の資質向上事業	4	学校司書配置事業	2-(3)			政策的	
事業概要	全ての小・中学校に学校司書を配置して、児童生徒の読書習慣の定着や、授業での図書の活用、学校間の図書の相互利用を図る。				対象	児童生徒、教員		
					手段	司書資格又は教員免許を有する人を任用して、小・中学校に配置する。		
					意図	読書習慣の定着、授業での図書の活用、学校間の図書の相互利用の推進		

事業期間	H29以前	年度	～	R7以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
支出内訳	H30(決算額)		R1(決算額)		R2(決算額)		R3(予算額)			
	人件費	33,619千円	人件費	24,453千円	会計年度任用職員報酬	28,741千円	会計年度任用職員報酬	25,490千円		
					社会保険料等	5,999千円	社会保険料等	5,677千円		
	合計	33,619千円		24,453千円		34,740千円		31,167千円		
財源内訳/割合	国庫支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他									
	一般財源	33,619千円		24,453千円		34,740千円		31,167千円		
合計	33,619千円		24,453千円		34,740千円		31,167千円			
人工数	0.15人	867千円	0.20人	1,155千円	0.05人	290千円				
総経費	34,486千円		25,608千円		35,030千円					

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			H30	R1	R2	R3
1	学校司書配置校数	活動	18校	18校	18校	18校
			18校	18校	18校	
			100%	100%	100%	
2	小学校における年間貸出し冊数 (目標値の基準:H28実績1人58冊×全児童数)	成果	58.0冊	58.0冊	58.0冊	58.0冊
			46.7冊	15.9冊	48.6冊	
			82%	28%	83.8%	
3	中学校における年間貸出し冊数(目標値の基準:H27実績1人12冊×全生徒数)	成果	12.0冊	12.0冊	12.0冊	12.0冊
			7.8冊	1.7冊	7.4冊	
			65%	14.2%	61.67%	

成果	全ての小学校に学校司書を配置され、各学校において学校図書館が整備されたり、授業に関連する図書の展示がなされたりして読書環境が整っている。				
R4年度に向けた課題及び改善策	学校司書が中心となって読書環境を整えるため、地域の公民館をはじめ、中央図書館や県立図書館等とも連携していく。				
目標達成度	A	R4年度に向けた方向性			
		成果	現状維持	コスト	現状維持
特記事項					

R2年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係) 学校教育課 学務係 事務事業番号 132020713

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)		
	5	教育・文化・スポーツ	32	学校教育の推進	2	義務教育環境の向上	
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	スマイルエイジング
7	学校ICT環境整備事業	13	GIGAスクール推進事業		2-(3)		政策的
事業概要	令和2年度にGIGAスクール構想の実現により、学校の教室で、無線LAN環境が整い、12月にすべての児童生徒1人1台ずつタブレット端末が整備される予定である。児童生徒が学校でのインターネット通信が可能となるようWi-Fi環境を整える。				対象	児童生徒及び教職員	
					手段	タブレット端末活用のための導入支援	
					意図	1人1台端末を活用した効果的な授業を行うための基盤をつくる。	

事業期間	R1 年度	～	R7以降 年度	予算種別	新規	臨時	会計種別	一般
	H30(決算額)		R1(決算額)		R2(決算額)		R3(予算額)	
支出内訳					工事委託料	119,014千円	通信運搬費	8,451千円
					機械器具費	342,327千円	システム保守委託料	263千円
					通信運搬費	889千円		
					消耗品費	760千円		
	合計					462,990千円		8,714千円
財源内訳 / 割合	国庫支出金				1/2,10/10	323,292千円		
	県支出金							
	地方債				100%	63,200千円		
	その他							
	一般財源					76,498千円		8,714千円
合計					462,990千円		8,714千円	
人工数	人件費				0.40人	2,320千円		
総経費						465,310千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			H30	R1	R2	R3
1	タブレット端末の整備台数	活動			5,340台 5,340台 100%	5,340台
2						
3						

成果	すべての児童生徒に1人1台の端末を整備することができた。また、各学校の教室でのWi-Fi環境が整備された。				
R4年度に向けた課題及び改善策	児童生徒1人1台整備された端末を有効活用を促すとともに、破損等今後生じる課題に対応していく必要がある。				
目標達成度	A	R4年度に向けた方向性			
		成果	現状維持	コスト	現状維持
特記事項	校内通信ネットワーク整備及び端末整備は、令和元年度補正予算を繰り越し、令和2年度事業として実施。				

R2年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係) 学校教育課 学務係 事務事業番号 132020905

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)		
	5	教育・文化・スポーツ	32	学校教育の推進	2	義務教育環境の向上	
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	スマイルエイジング
事業概要	9	教職員の資質向上事業	5	学校業務支援員配置事業	2-(3)		政策的
	教員の働き方改革の取組として、学校業務支援員を配置し、学校の事務的業務を補助することにより、教員の時間外在校時間の削減を図る。				対象	小・中学校の教員	
					手段	学校に学校業務支援員を配置して、教員が行っている事務的業務の一部を行わせる。	
意図					教員の時間外在校時間の削減		

事業期間	R1 年度	～	R7以降 年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
支出内訳	H30(決算額)		R1(決算額)		R2(決算額)		R3(予算額)	
			人件費	3,075千円	会計年度任用職員報酬	6,113千円	会計年度任用職員報酬	5,791千円
					社会保険料等	41千円	社会保険料等	49千円
	合計			3,075千円		6,154千円		5,840千円
財源内訳 / 割合	国庫支出金							
	県支出金		1/2	1,469千円	1/2	1,950千円	1/2	1,950千円
	地方債							
	その他							
	一般財源			1,606千円		4,204千円		3,890千円
合計			3,075千円		6,154千円		5,840千円	
人工数			0.06人		0.05人			
人件費			347千円		290千円			
総経費			3,422千円		6,444千円			

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			H30	R1	R2	R3
1	学校業務支援員配置人数	活動		5名	5名	5名
				5名	5名	
				100%	100%	
2	配置校の教員の時間外勤務時間数の削減率	成果		20%削減	20%削減	20%削減
				17.6%削減	17.8%削減	
				88%	89%	
3						

成果	市内大規模校に学校業務支援員を配置しているが、時間外勤務時間数は削減しているものの目標には届いていない。				
R4年度に向けた課題及び改善策	令和2年度は新型コロナウイルス感染症対策など想定外の対応が増えたが、教員の業務の見直し、コミュニティ・スクールの活用により教員の時間外勤務時間数の削減をめざす。				
目標達成度	B	R4年度に向けた方向性			
		成果	現状維持	コスト	現状維持
特記事項					

R2年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係) 学校教育課 学務係 事務事業番号 132030201

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)		
	5	教育・文化・スポーツ	32	学校教育の推進	3	指導内容・方法の工夫	
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	スマイルエイジング
2	小中一貫・連携教育推進事業	1	小中一貫教育推進事業				政策的
事業概要	「学校教育法等の一部を改正する法律」に伴い、施設一体型の厚陽小・中学校で小中一貫教育をさらに推進するとともに、平成32年度に施設一体型となる埴生小・中学校における小中一貫教育を推進するため、研修会を実施する。				対象	小中学校の教員	
					手段	研修会の開催	
					意図	義務教育9年間を見据えた計画的・継続的な指導体制づくり	

事業期間	H29以前	年度	～	R7以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
	H30(決算額)			R1(決算額)			R2(決算額)		R3(予算額)	
支出内訳	講師謝礼	38千円		講師謝礼	50千円		講師謝礼	6千円	講師謝礼	
	費用弁償	266千円								
	印刷製本費	40千円								
	図書購入費	16千円								
	合計		360千円			50千円			6千円	
財源内訳 / 割合	国庫支出金									
	県支出金	10/10	360千円							
	地方債									
	その他					50千円		6千円		
	合計		360千円			50千円		6千円		
人工数	0.15人	867千円		-			0.15人	870千円		
総経費		1,227千円			50千円			876千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			H30	R1	R2	R3
1	研修会の実施回数	活動	3回	2回	2回	
			3回	-	-	
			100%	-	-	
2	モデル校視察回数	活動	2回			
			3回			
			150%			
3						

成果	令和2年度に埴生小中一貫校がスタートし、厚陽小中学校とともに山陽小野田市の小中一貫教育のモデル校として実践を積み上げている。				
R4年度に向けた課題及び改善策	山陽小野田市における小中一貫教育および連携教育を推進していく。				
目標達成度	B	R4年度に向けた方向性			
		成果	現状維持	コスト	現状維持
特記事項					

R2年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係) 学校教育課 心の支援室 事務事業番号 132040204

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)		
	5	教育・文化・スポーツ	32	学校教育の推進	4	心に寄り添う学校づくりの推進	
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	スマイルエイジング
2	いじめ・不登校対策推進事業	4	心の支援室リース車更新事業		2-(3)		政策的
事業概要	心の支援室の職員が使用しているリース車2台のうち、1台が老朽化(H14年式アルト)のため、次年度の継続契約ができないと現在のリース会社から連絡があった。ふれあい相談室、学校等への移動に必要であるため、リース契約の更新を行う。				対象	心の支援室リース車	
					手段	リース契約の更新	
					意図	移動の安全性の確保	

事業期間	R2 年度	～	R7以降 年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
	H30(決算額)		R1(決算額)		R2(決算額)		R3(予算額)	
支出内訳					機械器具借上料	60千円		
					保険料	5千円		
	合計					65千円		
財源内訳 / 割合	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他							
	一般財源					65千円		
合計					65千円			
人工数					0.05人	290千円		
総経費						355千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			H30	R1	R2	R3
1	リース車更新台数	活動			1台 1台 100%	
2	学校等への訪問回数(小野田・山陽ふれあい相談室合計)	活動			400回 252回 63%	
3						

成果	ふれあい相談室、学校等への移動に必要なリース車の契約更新を行った。 新型コロナウイルス感染症対策のため学校訪問の回数は減少したが、学校への働きかけを積極的に行ったことにより、不登校児童生徒のうち、ふれあい相談室等へ通室した児童生徒の割合が増加した。不登校児童生徒数の割合が増加傾向であったが、令和2年度は減少に転じた。				
R4年度に向けた課題及び改善策					
目標達成度	A	R4年度に向けた方向性			
		成果	現状維持	コスト	現状維持
特記事項					

R2年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係) 社会教育課 きらら交流館 事務事業番号 133010504

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	5	教育・文化・スポーツ	33	社会教育の推進	1	社会教育活動の推進		
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	スマイルエイジング	事業区分
事業概要	5	きらら交流館管理運営事業	4	宿泊研修施設きらら交流館指定管理者選定委員会事業			行政内部管理	
	山陽小野田市宿泊研修施設きらら交流館の指定管理者による管理の期間が令和3年3月31日をもって終了するため、次の指定管理者を指定するための選定を行う。				対象	指定管理者選定委員		
					手段	指定管理者選定委員会を開催し、施設の管理を行わせるにつき最適なものを候補者として選定する。		
意図					指定管理者の選定公募により選出された市民又は学識経験者			

事業期間	H29以前	年度	～	R3	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
支出内訳	H30(決算額)		R1(決算額)		R2(決算額)		R3(予算額)			
	委員報酬	10千円			委員報酬	8千円	委員報酬	12千円		
	合計	10千円			8千円		12千円			
財源内訳 / 割合	国庫支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他									
	一般財源	10千円			8千円		12千円			
合計	10千円			8千円		12千円				
人工数	0.10人	583千円	-		0.10人	580千円				
総経費		593千円				588千円				

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			H30	R1	R2	R3
1	審議会開催回数	活動	2回		2回	2回
			2回		2回	
			100%		100%	
2						
3						

成果	令和3年度(令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)の1年間の指定管理者の選定を行った。					
R4年度に向けた課題及び改善策	きらら交流館は、令和4年度2月末(令和5年2月末)を以て、リニューアルオープンまでの間、一旦閉館となる。そのため、令和令和3年度に開催する指定管理者選定委員会において、次年度の指定管理候補者を選定すれば本事業は終了となる。					
目標達成度	A	R4年度に向けた方向性				
		成果	完了	コスト	R3	
特記事項						

R2年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係) 中央・厚狭図書館 中央・厚狭図書館 事務事業番号 133011003

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)		
	5	教育・文化・スポーツ	33	社会教育の推進	1	社会教育活動の推進	
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	スマイルエイジング
事業概要	10	読書活動推進事業	3	子ども読書活動推進計画推進事業(臨時分)		知守	政策的
	全ての子どもがあらゆる機会及び場所において、自主的に読書活動を行うことができるように、環境づくりを行う。令和2年度は、第二次子ども読書活動推進計画により開始した「絵本で子育て出前講座」を継続して行う。 また、第三次計画も策定後2年を経過し、計画の中間年となることから、時代に即した内容となるよう子育て支援課等との連携も含めた具体的な実施方法等の見直しを行う。				対象	概ね5歳以下の子ども及びその家族	
					手段	児童書の購入、絵本の読み聞かせなど	
					意図	全ての子どもがあらゆる機会及び場所において、自主的に読書活動を行うことができるように、環境づくりを行う	

事業期間	H29以前	年度	～	R7以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
	H30(決算額)			R1(決算額)			R2(決算額)		R3(予算額)	
支出内訳	講師謝礼	415千円		講師謝礼	306千円	講師謝礼	142千円	講師謝礼	426千円	
	消耗品費	50千円		消耗品費	50千円			消耗品費	43千円	
	賞賜金	27千円		賞賜金	5千円	委員報酬	20千円	委員報酬	32千円	
	印刷製本費	188千円		印刷製本費	3千円	印刷製本費	148千円	賞賜金	2千円	
				報償金	10千円			食糧費	22千円	
								印刷製本費	11千円	
合計		680千円			374千円		310千円		536千円	
財源内訳/割合	国庫支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他									
	一般財源		680千円		374千円		310千円		536千円	
合計		680千円		374千円		310千円		536千円		
人工数	1.90人	5,708千円		1.85人	5,644千円		2.63人	6,821千円		
総経費		6,388千円			6,018千円			7,131千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			H30	R1	R2	R3
1	「絵本で子育て出前講座」参加者数	成果	200人	200人	160人	200人
			131人	473人	206人	
			65.5%	236.5%	128.8%	
2	「乳幼児おはなしの会」参加者数	成果	800人	800人	630人	800人
			251人	357人	314人	
			31.4%	44.6%	49.8%	
3	児童書貸出冊数(全館)	成果	120,000冊	150,000冊	106,000冊	135,000冊
			115,398冊	107,249冊	81,252冊	
			0.962	0.715	0.767	

成果	新型コロナの影響によって行事が制限され思うような動員ができなかった。				
R4年度に向けた課題及び改善策	感染拡大防止に万全を期して子どもの読書普及を進めていく。				
目標達成度	C	R4年度に向けた方向性			
		成果	現状維持	コスト	現状維持
特記事項					

R2年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係) 中央・厚狭図書館 中央・厚狭図書館 事務事業番号 133011104

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)		
	5	教育・文化・スポーツ	33	社会教育の推進	1	社会教育活動の推進	
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	スマイルエイジング
事業概要	11	図書館管理事業	4	図書資料購入事業(臨時分)		知守	政策的
	近年、少子高齢化、高度情報化などが急速に進む中で、地域課題の増加や市民の学習意欲に対応した図書館資料の充実が求められているが十分な対応ができていない。このため、各分野の図書資料を購入し、地域の情報拠点として整備する。				対象	図書館利用者(市民及び県央連携等による市外利用者)	
					手段	絵本、一般図書、雑誌、新聞、AV資料等の購入	
					意図	市民の成長と自立を促し、このまちを支える人づくりに寄与すること	

事業期間	H29以前	年度	～	R7以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
支出内訳	H30(決算額)		R1(決算額)		R2(決算額)		R3(予算額)			
	図書購入費	11,037千円	図書購入費	11,637千円	図書購入費	11,461千円	図書購入費	11,852千円		
	視聴覚器具費	405千円	視聴覚器具費	414千円	視聴覚器具費	414千円	視聴覚器具費	415千円		
	消耗品費	1,945千円	消耗品費	2,169千円	消耗品費	2,141千円	消耗品費	1,988千円		
	マーク作成委託料	423千円	マーク作成委託料	432千円	マーク作成委託料	429千円	マーク作成委託料	600千円		
合計	13,810千円		14,652千円		14,445千円		14,855千円			
財源内訳/割合	国庫支出金									
	県支出金									
	地方債					教育費寄付金	24千円			
	その他		ふるさと支援基金	3,400千円	ふるさと支援基金	10,000千円	ふるさと支援基金	12,538千円		
	一般財源	13,810千円		11,252千円		4,421千円		2,317千円		
合計	13,810千円		14,652千円		14,445千円		14,855千円			
人工数	0.95人	3,538千円	0.88人	4,020千円	2.25人	6,946千円				
総経費	17,348千円		18,672千円		21,391千円					

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			H30	R1	R2	R3
1	貸出冊数(全館)	成果	395,500冊	431,100冊	304,900冊	388,000冊
			390,964冊	358,220冊	280,307冊	
			98.9%	83.09%	91.9%	
2	蔵書数(全館)	活動	347,500冊	357,400冊	367,100冊	373,600冊
			347,484冊	353,747冊	343,833冊	
			100%	99.0%	93.7%	
3	人口1人当たりの図書購入費の額	活動	-	-	-	240円
			-	231円	241円	
			-	-	-	

成果	新型コロナの影響により2度の長期休館を経験した。再開後も来館の自粛によりコロナ前の数字を得ることは難しい。そのような状況においても、休館中に貸し出しのみの窓口を設置するなど職員の工夫によってコロナ禍における図書館の利用方法をさぐってきた。				
R4年度に向けた課題及び改善策	新型コロナの感染拡大を防ぎながら、コロナ禍における図書館の最大限の利用方法を模索していく。引き続き「人口1人当たりの図書購入費」270円をめざす。				
目標達成度	B	R4年度に向けた方向性			
		成果	拡充	コスト	拡大
特記事項					

R2年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係) 中央・厚狭図書館 中央図書館 事務事業番号 133011109

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)		
	5	教育・文化・スポーツ	33	社会教育の推進	1	社会教育活動の推進	
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	スマイルエイジング
事業概要	11	図書館管理事業	9	新型コロナ対策事業			政策的
	○図書消毒器購入(中央図書館・厚狭図書館) 図書資料は不特定多数の人の手に触れるため、図書消毒機の購入により、市民がより安心、安全に図書資料の利用ができるようにする。 ○新型コロナ等関連の図書購入(中央図書館) 新型コロナウイルス等に関する最新かつより多くの知識・情報を提供し、市民の暮らしに役立てるため、関連図書資料を購入する。				対象	図書館利用者	
					手段	消毒の設置、図書の配架	
				意図	利用者への安心の提供		

事業期間	R2 年度	～	R2 年度	予算種別	新規	臨時	会計種別	一般
支出内訳	H30(決算額)		R1(決算額)		R2(決算額)		R3(予算額)	
						庁用器具費	504千円	
					図書購入費	500千円		
合計						1,004千円		
財源内訳 / 割合	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他				ふるさと支援基金	1,004千円		
	合計						1,004千円	
人工数					0.24人	936千円		
総経費						1,940千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			H30	R1	R2	R3
1	図書消毒器購入台数	活動			2台 2台 100%	
2	新型コロナ等関連書籍購入額	活動			50万円 50万円 100%	
3						

成果	いずれも有効的に活用されている。					
R4年度に向けた課題及び改善策						
目標達成度	A	R4年度に向けた方向性				
		成果	完了	コスト	R2	
特記事項						

R2年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係) 学校教育課 事務事業番号 134010102

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)		
	5	教育・文化・スポーツ	34	次世代の学校・地域創生の推進	1	学校・家庭・地域の連携の推進	
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	スマイルエイジング
事業概要	1	コミュニティ・スクール推進事業	2	スクールアドバイザー配置事業			政策的
	コミュニティ・スクールの機能である「学校支援、学校運営、地域貢献」の充実を図るため、学校運営協議会、地域協議会での助言・支援や各種マネジメントを行うスクールアドバイザーを配置する。				対象	コミュニティ・スクール	
					手段	学校運営協議会での助言・支援や各種マネジメントを行う。	
				意図	コミュニティ・スクールの充実		

事業期間	H29以前	年度	～	R7以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般	
支出内訳	H30(決算額)		R1(決算額)		R2(決算額)		R3(予算額)				
	(全額県負担)		人件費		1,652千円	会計年度任用職員報酬	1,717千円	会計年度任用職員報酬	2,480千円		
						社会保険料等	285千円	社会保険料等	360千円		
合計					1,652千円		2,002千円		2,840千円		
財源内訳 / 割合	国庫支出金										
	県支出金										
	地方債										
	その他										
	一般財源					1,652千円		2,002千円		2,840千円	
合計					1,652千円		2,002千円		2,840千円		
人工数			1.05人		2,033千円		1.00人		2,271千円		
総経費					3,685千円		4,273千円				

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			H30	R1	R2	R3
1	学校運営協議会、地域協議会への出席回数 (各学校年2回)	活動	-	36回	36回	36回
			60回	48回	52回	
			-	133.3%	144.4%	
2	コミュニティ・スクールだよりの発行回数 (月平均2回)	活動	-	24回	24回	24回
			23回	24回	26回	
			-	100%	108.3%	
3						

成果	新型コロナウイルス感染症対策のため、様々な活動が中止、制限となったが、これまでの活動の見直しにつながっている。小学6年生、中学3年生、教職員、学校運営協議会委員を対象とした意識調査を実施し、取組の成果検証を行い、重点取組事項を提示することで、学校運営協議会の活性化を図ることができた。				
R4年度に向けた課題及び改善策	学校課題を明確にして学校運営協議会委員に周知し、課題解決のための取組の精選、重点化等を行いながら「学校地域連携カリキュラム」の策定できるよう指導・助言していく。				
目標達成度	A	R4年度に向けた方向性			
		成果	現状維持	コスト	現状維持
特記事項					

R2年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係) 社会教育課 社会教育係 事務事業番号 134010302

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)		
	5	教育・文化・スポーツ	34	次世代の学校・地域創生の推進	1	学校・家庭・地域の連携の推進	
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	スマイルエイジング
事業概要	3	家庭教育支援事業	2	家庭教育支援事業(中学校区分)	2-(1)	知守	政策的
	「やまぐち型地域連携教育」の仕組みを生かし、概ね中学校区で学校等と連携しながら、地域の実情に応じた家庭教育支援を行うため、小野田中学校区家庭教育支援チームを立ち上げた。小学校区ごとに行ってきたこれまでの活動を中学校区に広げ、子育てサロンや「親の学び」プログラムin小野田などを開催している。学校等との連携を生かして、幼稚園、保育所、小学校、中学校の保護者のつながりづくりを行い家庭教育の充実に向け取り組んでいく。					対象 子育て中の保護者	
					手段		家庭教育支援チームによる支援
					意図		子育て中の保護者の不安を解消する

事業期間	H29以前	年度	～	R7以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
支出内訳	H30(決算額)		R1(決算額)		R2(決算額)		R3(予算額)		講師謝礼	50千円
					印刷製本費		83千円	印刷製本費	50千円	
								保険料	5千円	
	合計							83千円		
財源内訳/割合	国庫支出金									
	県支出金							55千円	73千円	
	地方債									
	その他									
	一般財源							28千円	37千円	
合計							83千円			110千円
人工数	0.15人	876千円		0.35人	2,021千円					
総経費									83千円	

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			H30	R1	R2	R3
1	講座回数	活動			2回 0回 0%	2回
2	子育て講座満足度	成果			90.0%以上 - -	90.0%以上
3	研修会の開催	活動			1回 0回 0%	1回

成果	令和2年度に関しては、新型コロナウイルス感染症により講座、研修ともに形態、人数規模の観点から中止という判断をした。しかし、チーム会議は例年通り3回行い、令和3年度に向けての協議を十分に行うことができた。令和3年度は約10名のグループを12会場に分け、研修会を実施する。この研修会はこれまでと異なり、学校運営協議会とタイアップしたものであり、これまで以上に様々な立場の人とのつながりづくりが行えるものとなっている。					
R4年度に向けた課題及び改善策	他の研修や会議のようにオンラインでの開催を行うと、本事業の主眼達成が難しくなる。人数を分散して行うことで問題はクリアできるが、分散すればするほど、人的な配置人数も増加する。本年度は市の家庭教育支援チームにも協力要請を行っている。いかにして、感染症対策をしながら、コンパクトに開催することができるかが重要となる。					
目標達成度	D	R4年度に向けた方向性				
	成果	拡充	コスト	拡大		
特記事項						

R2年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係) 大学推進室 事務事業番号 135010102

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)		
	5	教育・文化・スポーツ	35	山口東京理科大学の教育環境の整備・充実	1	山口東京理科大学の教育環境の整備・充実	
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	スマイルエイジング
1	公立大学法人山口東京理科大学運営事業	2	公立大学法人山口東京理科大学授業料等減免補助事業				義務的
事業概要	大学等における修学の支援に関する法律第8条第1項に基づき、公立大学法人山陽小野田市立山口東京理科大学が行う授業料等減免について、同法第10条第3号の規定に基づき、公立大学法人の設立団体である市が当該減免に要する費用を支弁するもの。				対象	公立大学法人山陽小野田市立山口東京理科大学	
					手段	補助金を交付する。	
					意図	修学支援法に基づき行われる授業料等の減免に要する費用を支弁する。	

事業期間	R2 年度	～	R7以降 年度	予算種別	新規	臨時	会計種別	一般
	H30(決算額)		R1(決算額)		R2(決算額)		R3(予算額)	
支出内訳					授業料等減免補助金	75,426千円	授業料等減免補助金	94,414千円
	合計						75,426千円	94,414千円
財源内訳 / 割合	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他							
	一般財源						75,426千円	94,414千円
合計						75,426千円	94,414千円	
人工数					0.35人	2,030千円		
人件費								
総経費						77,456千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			H30	R1	R2	R3
1	修学支援法に基づく授業料等減免費用の支弁	活動			87,749千円 75,426千円 86.0%	94,414千円
2						
3						

成果	支援が必要な低所得者世帯の学生に対し、市が費用の全額を支弁し、公立大学法人が授業料等の減免を実施することにより修学支援を行った。				
R4年度に向けた課題及び改善策	授業料等減免に要する費用を滞りなく支弁するため、公立大学法人と定期的な情報交換を行い、授業料等減免状況の把握に努める。				
目標達成度	A	R4年度に向けた方向性			
		成果	現状維持	コスト	現状維持
特記事項					

R2年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係) 大学推進室 事務事業番号 135010103

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	5	教育・文化・スポーツ	35	山口東京理科大学の教育環境の整備・充実	1	山口東京理科大学の教育環境の整備・充実		
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	スマイルエイジング	事業区分
1	公立大学法人山口東京理科大学運営事業		3	公立大学法人山口東京理科大学運営費交付金事業				行政内部管理
事業概要	地方独立行政法人法第42条に基づき、山陽小野田市が設立した公立大学法人山陽小野田市立山口東京理科大学の業務の財源に充てるために、運営費交付金を交付する。				対象	公立大学法人山陽小野田市立山口東京理科大学		
					手段	運営費交付金を交付する。		
					意図	公立大学法人の業務の財源に充てるために必要な金額を交付する。		

事業期間	H29以前	年度	～	R7以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般					
支出内訳	H30(決算額)		R1(決算額)		R2(決算額)		R3(予算額)								
	運営費交付金	1,542,915千円	運営費交付金	1,537,523千円	運営費交付金	1,590,987千円	運営費交付金(通常分)	1,641,890千円							
							運営費交付金(寄附金充当分)	4,050千円							
	合計	1,542,915千円	合計	1,537,523千円	合計	1,590,987千円	合計	1,645,940千円							
	国庫支出金		県支出金		地方債		その他	基金繰入	238,059千円	基金繰入等	37,545千円	基金繰入等	114,170千円		
一般財源	1,304,856千円	一般財源	1,499,978千円	一般財源	1,590,987千円	一般財源	1,531,770千円	合計	1,542,915千円	合計	1,537,523千円	合計	1,590,987千円	合計	1,645,940千円
人工数	0.15人	867千円	0.20人	1,155千円	0.25人	1,450千円	総経費	1,543,782千円	総経費	1,538,678千円	総経費	1,592,437千円			

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			H30	R1	R2	R3
1	山陽小野田市立山口東京理科大学工学部の学生数(入学定員:200人×4年=収容定員800人)	成果	973人	800人	800人	800人
			979人	887人	849人	
			100.6%	110.9%	106.1%	
2	山陽小野田市立山口東京理科大学薬学部の学生数(入学定員120人×6年=収容定員720人)	成果	120人	240人	360人	480人
			119人	261人	378人	
			99.2%	108.8%	105.0%	
3	山陽小野田市立山口東京理科大学大学院の学生数(工学研究科/工学専攻:収容定員39人)	成果	29人	39人	39人	39人
			25人	37人	40人	
			86.2%	94.9%	102.6%	

成果	学生数は目標を上回っている。				
R4年度に向けた課題及び改善策	運営費交付金は、地方独立行政法人法の規定に基づき、市が定めた中期目標を達成するために活動する公立大学法人の持続的な運営を確保することを目的として交付されている。公立大学法人の業務や果たすべき役割を踏まえつつ、自律的、効率的な法人運営に資することができるように運営費交付金の算定を行う。				
目標達成度	A	R4年度に向けた方向性			
		成果	現状維持	コスト	現状維持
特記事項					

R2年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係) 大学推進室 事務事業番号 135010104

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	5	教育・文化・スポーツ	35	山口東京理科大学の教育環境の整備・充実	1	山口東京理科大学の教育環境の整備・充実		
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	スマイルエイジング	事業区分
1	公立大学法人山口東京理科大学運営事業		4	公立大学法人山口東京理科大学運営基金積立事業				行政内部管理
事業概要	公立大学法人山陽小野田市立山口東京理科大学の健全な運営を支援するため、山陽小野田市立公立大学法人運営基金条例に基づき、公立大学法人山陽小野田市立山口東京理科大学の施設整備等のため、基金を設置し、計画的に積み立てを行う。				対象	公立大学法人運営基金		
					手段	基金積立		
					意図	将来の大学の施設整備等のため、計画的に基金を積み立て、健全な運営を保つ。		

事業期間	H29以前	年度	～	R7以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般	
支出内訳	H30(決算額)		R1(決算額)		R2(決算額)		R3(予算額)				
	基金積立金		142,069千円	基金積立金		2,000千円	基金積立金		41,770千円	基金積立金	
	合計		142,069千円		2,000千円		41,770千円				
財源内訳/割合	国庫支出金										
	県支出金										
	地方債										
	その他	寄附金		1,000千円	寄附金		1,000千円	寄附金		1,050千円	
	一般財源			141,069千円			1,000千円			40,720千円	
合計			142,069千円			2,000千円			41,770千円		
人工数	人件費	0.05人	289千円	0.15人	866千円	0.10人	580千円				
総経費			142,358千円			2,866千円			42,350千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			H30	R1	R2	R3
1	山陽小野田市公立大学法人運営基金の年度末残高	成果	756,755千円	693,859千円	687,746千円	668,825千円
			776,102千円	741,164千円	782,941千円	
			102.6%	106.8%	113.8%	
2						
3						

成果	公立大学法人運営基金は、目標とする残高を確保している。				
R4年度に向けた課題及び改善策	公立大学法人の長期的な財政見通しについて、公立大学法人が作成する施設整備に係る長期計画等の情報を踏まえ、市において更なる把握と精緻化に努めながら基金の運用を行う。				
目標達成度	A	R4年度に向けた方向性			
		成果	現状維持	コスト	現状維持
特記事項					

R2年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係) 大学推進室 事務事業番号 135010201

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)		
	5	教育・文化・スポーツ	35	山口東京理科大学の教育環境の整備・充実	1	山口東京理科大学の教育環境の整備・充実	
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	スマイルエイジング
事業概要	2	公立大学法人山口東京理科大学薬学部校舎建設事業	1	公立大学法人山口東京理科大学薬学部校舎建設事業			政策的
	山陽小野田市立山口東京理科大学に、平成30年4月に開学した薬学部の教育研究活動に必要な校舎、研究機器類などの施設、設備の整備を行う。				対象	公立大学法人山陽小野田市立山口東京理科大学	
					手段	薬学部校舎及び設備の整備	
				意図	高等教育機関の充実・活用のため、薬学部を設置する。		

事業期間	H29以前	年度	～	R5	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
支出内訳	H30(決算額)		R1(決算額)		R2(決算額)		R3(予算額)			
	職員手当等	892千円	職員手当等	229千円	職員手当等	165千円	職員手当等	400千円		
	需用費	28千円	需用費	114千円	需用費	16千円	旅費	63千円		
	役務費	1,438千円	役務費	297千円	役務費	265千円	需用費	2,034千円		
	委託料	45,894千円	委託料	1,230千円	委託料	10,099千円	役務費	263千円		
	工事請負費	2,235,342千円	工事請負費	83,945千円	使用料及び賃借料	191千円	委託料	2,800千円		
	備品購入費	504,027千円	備品購入費	265,017千円	工事請負費	49,173千円	使用料及び賃借料	183千円		
	その他	543千円	その他	334千円	その他	107千円	負担金、補助及び交付金	94千円		
合計	2,788,164千円		351,166千円		60,016千円		5,837千円			
財源内訳/割合	国庫支出金									
	県支出金									
	地方債	75%	2,087,100千円	75%	263,300千円	75%	44,300千円	75%	1,800千円	
	その他									
	一般財源		701,064千円		87,866千円		15,716千円		4,037千円	
合計		2,788,164千円		351,166千円		60,016千円		5,837千円		
人工数	4.20人	21,364千円	2.45人	13,877千円	0.75人	4,349千円				
総経費		2,809,528千円		365,043千円		64,365千円				

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			H30	R1	R2	R3
1	薬学部校舎等建設スケジュール	活動	工事、備品	工事、備品	工事	工事
			工事、備品	工事、備品	工事	
			100.0%	75.0%	100%	
2						
3						

成果	令和2年度に予定していた外構整備工事は完了した。				
R4年度に向けた課題及び改善策	薬学部の開学にあたり計画していた建設事業において、最後の事業となるグラウンド・テニスコートの整備は、令和3年度内の工事着工を目指し準備を進める。				
目標達成度	A	R4年度に向けた方向性			
		成果	現状維持	コスト	現状維持
特記事項	当初市が建設を予定していた危険物倉庫及び薬用植物園附属棟は、工事着工への時間短縮と現時点で大学が必要とする仕様の建物を建設するため、公立大学法人が工事を行う。				

R2年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係) 文化スポーツ推進課 文化会館 事務事業番号 136010308

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)		
	5	教育・文化・スポーツ	36	芸術文化によるまちづくりの推進	1	芸術文化を育む環境づくり	
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	スマイルエイジング
事業概要	3	文化会館管理運営事業	8	自家発電設備点検事業			義務的
	消防用設備等の非常用電源として設置されている自家発電設備は、消防法による消防設備点検に加え、電気事業法及び建築基準法においても定期的な点検が義務付けられていることから、点検を行い適切に管理する。				対象	文化会館自家発電設備	
					手段	法定点検	
意図					火災時の人命救助		

事業期間	R2 年度	～	R7以降 年度	予算種別	新規	臨時	会計種別	一般
	H30(決算額)		R1(決算額)		R2(決算額)		R3(予算額)	
支出内訳					点検委託料	363千円		
	合計					363千円		
財源内訳 / 割合	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他							
	一般財源					363千円		
合計					363千円			
人工数					0.02人	116千円		
人件費								
総経費						479千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			H30	R1	R2	R3
1	点検回数	成果			1 1 100%	
2						
3						

成果	法令に基づき自家発電設備の点検を行った。				
R4年度に向けた課題及び改善策	今後も2年に1度(偶数年度)に点検を実施する。法令に基づく義務的点検であるため臨時予算から経常予算への変更を検討する。				
目標達成度	A	R4年度に向けた方向性			
		成果	現状維持	コスト	現状維持
特記事項					

R2年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係) 文化スポーツ推進課 文化振興係 事務事業番号 136010503

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	5	教育・文化・スポーツ	36	芸術文化によるまちづくりの推進	1	芸術文化を育む環境づくり		
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	スマイルエイジング	事業区分
事業概要	5	世代別市民文化度育成事業	3	(主催)アウトリーチ事業(臨時)				政策的
	普段コンサートホールに行くことが難しい人にも質の高い芸術文化に触れてもらうため、初年度は障害者施設や病院等に出向いてコンサートを実施する。2年目以降は、気軽に音楽を鑑賞できるコンサートの実施も視野に入れ、コンサートホール以外の身近な施設においてもコンサートを開催することで、だれもが気軽に芸術文化に親しむことができる環境づくりを進めます。					対象	市民ほか	
					手段	出前コンサートの実施		
					意図	芸術文化に親しみ創造性を豊かにする環境づくり及び生きがいづくり		

事業期間	R2 年度	～	R7以降 年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
支出内訳	H30(決算額)		R1(決算額)		R2(決算額)		R3(予算額)	
							報償費	500千円
							食糧費	10千円
							消耗品費	60千円
							会場借上料	30千円
	合計							600千円
財源内訳 / 割合	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他							
	一般財源							600千円
合計							600千円	
人工数								
人件費								
総経費								

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			H30	R1	R2	R3
1	アウトリーチ実施回数	活動			2回 0 0%	2回
2						
3						

成果	新型コロナウイルス感染症の影響により開催見送り。				
R4年度に向けた課題及び改善策	コロナ禍であっても質の高い芸術文化に触れることのできる新たな手法の検討。				
目標達成度	D	R4年度に向けた方向性			
		成果	現状維持	コスト	現状維持
特記事項					

R2年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係) 文化スポーツ推進課 文化会館 事務事業番号 136010504

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	5	教育・文化・スポーツ	36	芸術文化によるまちづくりの推進	1	芸術文化を育む環境づくり		
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	スマイルエイジング	事業区分
5	世代別市民文化度育成事業	4	(主催)子ども文化ふれあい事業					政策的
事業概要	子ども達に多彩なアーティストによる優れた公演を間近に体験させることにより、豊かな感情や情緒を育み、創造的で個性的な価値観を養うため、市内の全小学6年生を対象に芸術文化鑑賞会を実施する。					対象	市内全小学6年生	
						手段	昼1回公演	
						意図	子どもたちに生の鑑賞機会を提供することで感動を体感してもらう	

事業期間	H29以前	年度	～	R7以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
支出内訳	H30(決算額)		R1(決算額)		R2(決算額)		R3(予算額)			
	消耗品	6千円	著作権使用料	2千円			報償費	1,600千円		
	食糧費	9千円	食糧費	2千円			消耗品費	73千円		
	実行委員業務委託	6千円	実行委員業務委託	7千円			食糧費	45千円		
	公演業務委託料	260千円	手数料	20千円			手数料(調律)	160千円		
	送迎業務委託料	586千円	保険料	14千円			著作権使用料	25千円		
	著作権使用料	2千円	公演業務委託料	700千円			通信運搬費	5千円		
			送迎業務委託料	620千円			自動車借上料	20千円		
	合計	869千円		1,365千円				1,928千円		
	財源内訳/割合	国庫支出金								
県支出金										
地方債										
その他										
一般財源		869千円		1,365千円					1,928千円	
合計	869千円		1,365千円					1,928千円		
人工数	0.60人	3,070千円	0.09人	520千円	-					
総経費	3,939千円		1,885千円							

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			H30	R1	R2	R3
1	公演実施回数	活動	1回	1回	1回	17回
			1回	1回	0	
			100%	100%	0%	
2	入場者数	成果	600人	600人	600人	900人
			585人	620人	0	
			97.5%	103.3%	0%	
3						

成果	新型コロナウイルス感染症の影響により開催見送り。				
R4年度に向けた課題及び改善策	コロナ禍であっても質の高い芸術文化に触れることのできる新たな手法の検討。				
目標達成度	D	R4年度に向けた方向性			
		成果	現状維持	コスト	現状維持
特記事項	新型コロナウイルス感染症の影響により、中止。 R3年度は、会場を各学校とし、感染症対策を徹底し、実施予定。				

R2年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係) 文化スポーツ推進課 文化振興係 事務事業番号 136020201

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)		
	5	教育・文化・スポーツ	36	芸術文化によるまちづくりの推進	2	芸術文化活動の推進	
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	スマイルエイジング
事業概要	2	ガラス文化推進事業	1	現代ガラス展開催事業	1-(1)		政策的
	本市のガラス文化の魅力を発信するため平成13年度から開催している現代ガラス展in山陽小野田の第8回を開催する。市内の商業施設でR2年7月11日から8月22日までの43日間開催し、続いて市外の山口県立萩美術館・浦上記念館で8月25日から30日までの6日間開催することにより本市の特色を活かしたシティセールスの一環とし、市の魅力の発信力を高めることで交流人口の増加を図る。				対象	全市民及び全国	
					手段	ガラス展の開催	
					意図	ガラス文化の推進	

事業期間	H29以前	年度	～	R7以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
	H30(決算額)			R1(決算額)			R2(決算額)		R3(予算額)	
支出内訳	現代ガラス展実行委員会負担金	3,841千円		現代ガラス展実行委員会負担金	3,000千円	現代ガラス展実行委員会負担金	2,379千円	現代ガラス展実行委員会負担金		千円
	合計	3,841千円		3,000千円		2,379千円		千円		
財源内訳/割合	国庫支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他					ふるさと支援基金	2,379千円			
	一般財源	3,841千円		3,000千円						千円
合計	3,841千円		3,000千円		2,379千円		千円			
人工数	1.45人	7,981千円		0.46人	2,657千円		0.77人	4,077千円		
総経費	11,822千円		5,657千円		6,456千円					

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			H30	R1	R2	R3
1	入場者数	成果	9,500人	-	10,500人	-
			9,554人	-	407人	
			100.6%	-	3.88%	
2						
3						

成果	国内外から82点の応募があり、1次審査を通過した入選作品38点の展示を行った。また表彰式に合わせ受賞作品13点の作品展示も同時開催した。会場の不二輸送機ホールにはこれらの展示期間中には市内外から合計400名を超える人が来場し、創意あふれる作品の数々を鑑賞する機会の提供につながった。				
R4年度に向けた課題及び改善策	本市のガラス文化発信の主要イベントとして、今後も3年に1度開催する。第9回展(R5予定)では、市内商業施設及び山口県立萩美術館・浦上記念館での開催に加え、上野の森美術館(東京都)において特別作品展を開催し、本市ガラス文化を広く発信していく。(東京展は、R2年度第8回展にて初開催)				
目標達成度	D	R4年度に向けた方向性			
	成果	拡充	コスト	拡大	
特記事項	新型コロナウイルス感染症の影響により、規模を縮小して実施。(市内商業施設及び山口県立萩美術館・浦上記念館で予定の展覧会は中止。)				

R2年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係) 文化スポーツ推進課 文化振興係 事務事業番号 136020202

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)		
	5 教育・文化・スポーツ		36 芸術文化によるまちづくりの推進		2 芸術文化活動の推進		
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	スマイルエイジング	事業区分
事業概要	2 ガラス文化推進事業		2 ガラス文化推進事業		1-(1)		政策的
	市内外の行事等に出張し、ガラス体験教室を開催することで、多くの人が本市ガラス文化に興味を持つきっかけとする。また、参加者へきららガラス未来館をPRする機会とし来館を促すことで、本市ガラス文化の推進を図る。				対象	全市民及び全国	
				手段	市内外できららガラス未来館によるガラス作品制作の出張体験教室を開催する。県外施設において市保有の現代ガラス作品の展覧会を開		
				意図	ガラス文化の推進		

事業期間	R1 年度	～	R7以降 年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
	H30(決算額)		R1(決算額)		R2(決算額)		R3(予算額)	
支出内訳			講師謝礼	182千円	講師謝礼	千円	講師謝礼	291千円
			旅費	14千円	旅費	千円	旅費	15千円
			消耗品費		消耗品費	千円	消耗品費	37千円
			通信運搬		通信運搬	千円	通信運搬	9千円
			出展負担金	6千円	出展負担金	千円	出展負担金	6千円
					特別作品展(東京)	2,936千円		
合計				202千円		2,936千円		358千円
財源内訳/割合	国庫支出金				地方創生(1/2)	1,367千円		
	県支出金							
	地方債							
	その他						ふるさと支援基金	358千円
	一般財源			202千円		1,569千円		
合計				202千円		2,936千円		358千円
人工数			0.20人	1,155千円	0.01人	58千円		
総経費				1,357千円		2,994千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			H30	R1	R2	R3
1	出張体験教室の開催回数	活動	-	10回	12回	15回
			-	4回	0回	
			-	40%	0%	
2	出張体験教室の参加者人数	活動		200人	240人	300人
				77人	0人	
				38.5%	0%	
3	保有ガラス作品の展示箇所数	活動				22件

成果	市所有のガラス作品を9月17日(木)～10月18日(日)にかけて山口宇部空港に展示し、本市ガラス文化を発信した。また、今回初めて東京都で特別作品展を開催したところ、5日間で789名が来場するなど、本市の特色を活かしたシティセールスを行うことができた。				
R4年度に向けた課題及び改善策	市内外での出張体験教室を継続開催することで、本市ガラス文化及びきららガラス未来館をPRしていく。また、市が保有するガラス作品を公共施設等に展示するほか希望する事業所等へ貸し出すことで、市のガラス文化を多くの方々に周知する機会を増やす。				
目標達成度	C	R4年度に向けた方向性			
		成果	拡充	コスト	拡大
特記事項	出張体験教室は、新型コロナウイルス感染症の影響により開催見送り。				

R2年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係) 文化スポーツ推進課 文化振興係 事務事業番号 136020203

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)		
	5	教育・文化・スポーツ	36	芸術文化によるまちづくりの推進	2	芸術文化活動の推進	
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	スマイルエイジング
事業概要	2	ガラス文化推進事業	3	山口県中央都市連携事業(山口ゆめ回廊博覧会市町主体事業)	3-(2)		政策的
	県央連携都市圏域を構成する7市町全体を会場に見立て令和3年に開催する周遊型博覧会「山口ゆめ回廊博覧会」の本市の主体事業として、ガラスアートフェス(仮称)を実施する。					1-(1)	
	対象	市民をはじめ参加個人、団体					
手段	広域観光資源創出プロジェクトによる事業運営						
意図	交流人口の増加						

事業期間	R2 年度	～	R3 年度	予算種別	新規	臨時	会計種別	一般
	H30(決算額)		R1(決算額)		R2(決算額)		R3(予算額)	
支出内訳					庁用器具費	6,609千円		
					保険料	1千円		
	合計						6,610千円	
財源内訳 / 割合	国庫支出金				地方創生(1/2)	3,304千円		
	県支出金							
	地方債							
	その他							
	一般財源						3,306千円	
合計						6,610千円		
人工数	人件費				0.41人	2,378千円		
総経費						8,988千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			H30	R1	R2	R3
1	市町主体事業の開催	活動			1回(プレ) 1回 100%	1回
2						
3						

成果	ガラス作品展示台10台を新たに購入し、市内10施設にガラス作品のミニギャラリーを設置した。10月から12月にかけて開催したガラスアートフェスには市内外から100名を超える人が参加し、本市ガラス文化を発信することができた。					
R4年度に向けた課題及び改善策						
目標達成度	A	R4年度に向けた方向性				
		成果	完了	コスト	R3	
特記事項						

R2年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係) 文化スポーツ推進課 文化振興係 事務事業番号 136020301

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)		
	5	教育・文化・スポーツ	36	芸術文化によるまちづくりの推進	2	芸術文化活動の推進	
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	スマイルエイジング
3	文化によるまちづくり推進事業	1	かるたによるまちづくり推進事業		1-(1)		政策的
事業概要	市内公共施設や小学校の授業の一環としてかるた教室を開催することで、市内全域への競技かるたの普及を進める。また、教室参加者や競技者を対象としたかるた大会を開催することにより、競技者のさらなる増加を図ることで、「かるたのまち山陽小野田」の魅力を発信し、交流人口の拡大を図る等、かるたによるまちづくりを展開する。					対象	本市及び全国
						手段	競技かるた関係者による連絡会議の開催
						意図	競技かるたの再興によるまちづくり及び全国発信

事業期間	H30 年度	～	R7以降 年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般	
支出内訳	H30(決算額)		R1(決算額)		R2(決算額)		R3(予算額)		
	かるた教室委託料	15千円	かるた教室委託料	180千円	かるた教室委託料	180千円	かるた教室委託料	230千円	
	消耗品(かるた札購入)	324千円	消耗品費	29千円	消耗品(かるた札購入)	407千円	消耗品	200千円	
	消耗品	16千円	通信運搬費	2千円			広報物作成業務委託料	100千円	
	保険料	3千円	保険料	4千円			報償費	50千円	
			会場借上料	1千円			通信運搬費(ほか)	22千円	
							かるたフォーラム開催経費	1,086千円	
合計	358千円		216千円		587千円		1,688千円		
財源内訳/割合	国庫支出金	地方創生1/2	178千円	地方創生1/2	108千円	地方創生1/2	293千円	地方創生1/2	468千円
	県支出金								
	地方債								
	その他								
	一般財源		180千円		108千円		294千円		1,220千円
合計		358千円		216千円		587千円		1,688千円	
人工数	0.10人	578千円	0.13人	630千円	0.40人	2,320千円			
総経費		936千円		846千円		2,907千円			

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			H30	R1	R2	R3
1	学校出前かるた教室の開催(参加者数)	活動		8回	8回	8回
				8回(4校552人)	12回(9校426人)	
				100%	150%	
2	一般向けかるた教室の開催(参加者数)	活動		4回	4回	4回
				4回(延べ34人)	0回	
				100%	0%	
3	かるた教室・大会の開催(参加者数)	活動		0回	1回	1回
				1回	0回	0回
				100%	0%	0%

成果	小中学生を対象としたかるた教室を9校で12回開催し、400名を超える児童・生徒に競技かるたに触れる機会を提供した。また、平成30年度から小野田高校と竜王中学校が続けてきた交流会に赤崎・本山小が加わった小・中・高連携かるた交流会が初めて実現するなど、かるたを通じた多世代交流が広がりつつある。				
R4年度に向けた課題及び改善策	小中学生対象のかるた教室は大変好評で、今後も継続開催することで若い世代にかるた文化を継承するよう努める。また、山口東京理科大学の競技かるた部との交流を深めるなど、かるたを通じた交流の輪をさらに広い世代に広げる取組みを行う。競技かるたに継続して取り組む人材の育成、本市かるた文化を若い世代にいかに関承するかが課題である。				
目標達成度	A	R4年度に向けた方向性			
		成果	現状維持	コスト	現状維持
特記事項	新型コロナウイルス感染症の影響により、学校出前かるた教室のみの実施。かるたフォーラムはR3年度に延期開催予定。				

R2年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係) 文化スポーツ推進課 文化振興係 事務事業番号 136020302

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	5 教育・文化・スポーツ		36 芸術文化によるまちづくりの推進		2 芸術文化活動の推進			
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	スマイルエイジング	事業区分	
事業概要	3 文化によるまちづくり推進事業		2 芸術文化アドバイザー設置事業				政策的	
	芸術文化活動の活性化及び本市の特色を活かした芸術文化によるまちづくりの推進を目的として専門的な立場からの助言を得るために芸術文化アドバイザーを設置します。				対象	本市文化振興行政		
					手段	専門的な立場からの助言を得る。		
意図					本市の魅力を活かした文化振興によるまちづくりの推進			

事業期間	R1 年度	～	R7以降 年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
支出内訳	H30(決算額)		R1(決算額)		R2(決算額)		R3(予算額)	
	芸術顧問報酬	3,000千円	報償金	100千円	報償金	40千円	報償金	360千円
	合計	3,000千円		100千円		40千円		360千円
財源内訳 / 割合	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他							
	一般財源	3,000千円		100千円		40千円		360千円
合計	3,000千円		100千円		40千円		360千円	
人工数	0.00人		0.10人	578千円	0.02人	116千円		
総経費	3,000千円		678千円		156千円			

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			H30	R1	R2	R3
1	芸術及び文化によるまちづくりのための専門的な立場からの助言	活動	-	100回	100回	36回
			-	10回	4回	
			-	10%	4%	
2						
3						

成果	専門的な立場からの助言を得ることで、魅力ある文化事業を実施することができた。				
R4年度に向けた課題及び改善策	引き続きアドバイザーの意見を有効に活用し、事業に反映していきたい。実績に応じて目標回数の見直しを行ったが、限られたコストで最大限の効果が得られるよう、制度の活用を図りたい。				
目標達成度	D	R4年度に向けた方向性			
		成果	現状維持	コスト	縮小
特記事項					

R2年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係) 社会教育課 文化財係 事務事業番号 136030102

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	5 教育・文化・スポーツ		36 芸術文化によるまちづくりの推進		3 文化財の保護・活用			
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	スマイルエイジング	事業区分
事業概要	1 文化財保護活用事業		2 「ふるさと文化遺産」登録・活用					政策的
	評価が厳選される指定文化財以外にも、地域の財産として親しまれ大切にされている文化的財産は多くあり、一定の価値づけを行うことで、市民が誇りをもって広く紹介し活用を図ることが可能となる。本制度を通して、そうした価値づけを行い、市民のアイデンティティ確立とあわせ、ふるさと学習での活用を図る。					対象	文化的財産	
						手段	登録、説明板設置	
意図						文化的財産の価値づけ、保護・活用、市民の郷土愛の醸成		

事業期間	H29以前	年度	～	R7以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
支出内訳	H30(決算額)		R1(決算額)		R2(決算額)		R3(予算額)			
	印刷製本費	996千円							印刷製本費	99千円
	合計	996千円								99千円
財源内訳 / 割合	国庫支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他								販売収入	99千円
	一般財源	996千円								
合計	996千円								99千円	
人工数	0.35人	2,042千円		0.25人	1,444千円		0.30人	1,740千円		
総経費		3,038千円								

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			H30	R1	R2	R3
1	ふるさと文化遺産への登録 (カテゴリー単位で行う)	成果	1件	1件	1件	1件
			0件	0件	1件	
			0%	0%	100%	
2	ふるさと文化遺産をテーマにした地域、学校、 団体との連携事業の実施回数	活動			8回	10回
					8回	
					100%	
3	ふるさと文化遺産ファイル販売数	活動			100冊	200冊
					176冊	
					1.76	

成果	令和2年度に「山陽道」を登録し、地域、学校、団体と連携した活動回数も目標を達成した。				
R4年度に向けた課題及び改善策	ふるさと文化遺産の資料を一部印刷するので、今後も販売実績を伸ばしていけるように情報発信をする。				
目標達成度	A	R4年度に向けた方向性			
		成果	拡充	コスト	拡大
特記事項	ゼロ予算事業				

R2年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係) 社会教育課 文化財係 事務事業番号 136030204

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)		
	5	教育・文化・スポーツ	36	芸術文化によるまちづくりの推進	3	文化財の保護・活用	
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	スマイルエイジング
2	文化財保存整備事業	4	且の登り窯保存事業				政策的
事業概要	市指定文化財である且の登り窯は、本体の老朽化が著しく、煙突が破損している状態である。また覆屋のスレートの一部が破損・落下し、また老朽化により木製の柱の一部が腐食している状態であるため、令和2年度に緊急的に修繕を実施し、今後覆屋を数年に分けて計画的に修理をする。登り窯については、有識者の意見も聞きながら、今後の保存について検討する。					対象	文化財
						手段	窯・屋根の修繕
						意図	劣化を防止する

事業期間	R2 年度	～	R7以降 年度	予算種別	新規	臨時	会計種別	一般
支出内訳	H30(決算額)		R1(決算額)		R2(決算額)		R3(予算額)	
					修繕料	630千円	修繕料	656千円
	合計					630千円		656千円
財源内訳 / 割合	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他							
	一般財源					630千円		656千円
合計					630千円		656千円	
人工数					0.15人	870千円		
人件費								
総経費						1,500千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			H30	R1	R2	R3
1	覆屋建て替え工事	活動			一部修理 完了 100%	一部修理
2						
3						

成果	登り窯の保全、周辺住民への安全を図るため、緊急的に覆屋を修復した。				
R4年度に向けた課題及び改善策	令和7年度まで、計画的に覆屋のスレートの取替え、母屋の取替えを実施する。				
目標達成度	A	R4年度に向けた方向性			
		成果	現状維持	コスト	現状維持
特記事項	予備費充用				

R2年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係) 社会教育課 歴史民俗資料館 事務事業番号 136030302

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	5	教育・文化・スポーツ	36	芸術文化によるまちづくりの推進	3	文化財の保護・活用		
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	スマイルエイジング	事業区分
事業概要	3	文化財保存展示事業(歴史民俗資料館)	2	歴史民俗資料館管理運営事業(企画展)			政策的	
	令和2年度は、新型コロナウイルス感染症対策のため休館期間もあり、予定していた企画展3つが中止となったが、企画展「人々と寺社」及びふるさと文化遺産「山陽道」登録記念展示・講演会を開催した。				対象	市民、県民、歴史愛好家		
					手段	企画展・講演会を開催する		
				意図	市の歴史を様々な角度から紹介し、市民には郷土愛を育み、市外の人には本市に関心を持ってもらう			

事業期間	H29以前	年度	～	R7以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
支出内訳	H30(決算額)		R1(決算額)		R2(決算額)		R3(予算額)			
	講師謝礼	15千円	講師謝礼	22千円	講師謝礼	千円	講師謝礼	45千円		
	普通旅費	11千円	普通旅費	11千円	普通旅費	千円	普通旅費・通送料	25千円		
	消耗品費	51千円	消耗品費	109千円	消耗品費	127千円	消耗品費	728千円		
	印刷製本費	84千円	印刷製本費	147千円	印刷製本費	50千円	印刷製本費	358千円		
	通信運搬費	82千円	通信運搬費	89千円	通信運搬費	24千円	通信運搬費	103千円		
	手数料	69千円	手数料	65千円	手数料	17千円	手数料・保険料	58千円		
合計	312千円		443千円		218千円		1,337千円			
財源内訳/割合	国庫支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他		ふるさと支援基金繰入金	400千円	ふるさと支援基金繰入金	218千円	ふるさと支援基金繰入金	1,304千円		
	一般財源	312千円		43千円			その他	33千円		
合計	312千円		443千円		218千円		1,337千円			
人工数	0.50人	1,438千円	0.65人	2,121千円	1.54人	4,021千円				
総経費	1,750千円		2,564千円		4,239千円					

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			H30	R1	R2	R3
1	企画展・講演会の開催回数	活動	5	6	6	6
			5	6	3	
			100%	100%	50%	
2	企画展・講演会の来場者数	活動	2500	3300	3400	3500
			2120	2943	1464	
			85%	89.1%	43%	
3						

成果	ふるさと文化遺産「山陽道」の登録を受け、展示、公民館、中学校での講座を開催。また、市民館文化ホールでは講演会を開催した。				
R4年度に向けた課題及び改善策	新型コロナウイルス感染症対策を万全に行うとともに、施設利用についても来館者に安心安全に観覧していただける環境整備を進められるよう館運営に努める。				
目標達成度	D	R4年度に向けた方向性			
		成果	拡充	コスト	拡大
特記事項	新型コロナウイルス感染症対策のため休館期間もあり、予定していた企画展3つと講演会が中止となった。				

R2年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係) 文化スポーツ推進課 スポーツ振興係 事務事業番号 137020101

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)		
	5	教育・文化・スポーツ	37	スポーツによるまちづくりの推進	2	スポーツ活動の推進	
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	スマイルエイジング
1	スポーツによるまちづくり推進事業	1	レノファ山口とのパートナーシップ事業		1-(1)		政策的
事業概要	スポーツによるまちづくりと市民の一体感醸成のため、山口県唯一のプロスポーツチームであるレノファ山口を活用し、選手による小学生とのスポーツ交流事業などを実施する。選手やスタッフ等と市民が交流する場を作ることにより、市民の一体感の醸成を促し、地域活性化やスポーツによるまちづくりを推進する。					対象	市民
						手段	市民(保育園、学校等)を対象にしたスポーツ交流事業等の実施
						意図	スポーツによるまちづくりの推進

事業期間	H29以前	年度	～	R7以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
支出内訳	H30(決算額)		R1(決算額)		R2(決算額)		R3(予算額)			
	スポーツ教室事業委託料	600千円	スポーツ教室事業委託料	600千円	スポーツ教室事業委託料	600千円	スポーツ教室事業委託料	600千円	消耗品費	200千円
	合計	600千円	合計	600千円	合計	600千円	合計	800千円		
	国庫支出金		県支出金							
	地方債		その他	100/100	600千円	100/100	600千円	ふるさと支援基金	600千円	
	一般財源		合計	600千円	合計	600千円	合計	600千円	合計	800千円
人工数	0.45人	2,600千円	0.25人	1,444千円	0.15人	869千円				
総経費	3,200千円	2,044千円	1,469千円							

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			H30	R1	R2	R3
1	交流行事の実施回数	活動	12回	12回	12回	12回
			13回	15	9	
			108.3%	125%	75%	
2	交流事業に参加した人数	活動	1,000人	2,000人	2,000人	2,000人
			2,115人	1996	341	
			211.5%	99.8%	17.0%	
3						

成果	新型コロナウイルスの影響により選手と直接触れ合う機会を持つことができなかった。そのため交流した人の人数が目標に届かなかった。				
R4年度に向けた課題及び改善策	選手との触れ合う機会をどのように作っていくか検討が必要である。市の施設となったサッカー交流公園を活用した事業の実施など検討する。				
目標達成度	C	R4年度に向けた方向性			
		成果	拡充	コスト	拡大
特記事項					

R2年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係) 文化スポーツ推進課 スポーツ振興係 事務事業番号 137020102

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)		
	5	教育・文化・スポーツ	37	スポーツによるまちづくりの推進	2	スポーツ活動の推進	
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	スマイルエイジング
1	スポーツによるまちづくり推進事業	2	キャンプ誘致推進補助事業		1-(1)		政策的
事業概要	東京2020オリンピック競技大会及び東京2020パラリンピック競技大会の競技種目に係るナショナルチームが行うキャンプの誘致を推進し、本市のスポーツ振興、地域の活性化、情報発信等を図るため、予算の範囲内において補助金を交付する。				対象	オリンピック等の競技種目に係るナショナルチーム	
					手段	キャンプの誘致	
					意図	スポーツによるまちづくりの推進	

事業期間	H30 年度	～	R2 年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
	H30(決算額)		R1(決算額)		R2(決算額)		R3(予算額)	
支出内訳	キャンプ誘致推進事業補助金	1,500千円	キャンプ誘致推進事業補助金	1,500千円	キャンプ誘致推進事業補助金		キャンプ誘致推進事業補助金	1,000千円
	合計	1,500千円		1,500千円				1,000千円
財源内訳/割合	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他	100/100	1,500千円	100/100	1,500千円			
	一般財源							1,000千円
合計	1,500千円		1,500千円				1,000千円	
人工数	0.35人	2,022千円	0.25人	2,022千円	0.16人	927千円		
総経費	3,522千円		3,522千円					

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			H30	R1	R2	R3
1	ナショナルチームの合宿回数	活動	3回	3回	2回	
			2回	1回	1	
			66.7%	33.3%	50%	
2	交流行事の実施回数	活動	6回	6回	4回	
			2回	1回	1	
			33.3%	16.7%	25%	
3						

成果	コロナの影響により合宿は1度しか実施できなかった。交流事業についても合宿の際に1度だけ実施することができた。				
R4年度に向けた課題及び改善策	東京2020パラリンピック後の支援について、パラサイクリング連盟との協議を行いどのような支援を行うことができるか検討する必要がある。				
目標達成度	C	R4年度に向けた方向性			
		成果	現状維持	コスト	現状維持
特記事項					

R2年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係) 文化スポーツ推進課 スポーツ振興係 事務事業番号 137020103

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	5	教育・文化・スポーツ	37	スポーツによるまちづくりの推進	2	スポーツ活動の推進		
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	スマイルエイジング	事業区分
1	スポーツによるまちづくり推進事業	3	パラサイクリング支援の輪拡大事業		1-(1)	交流 運動	政策的	
事業概要	パラサイクリングの主要競技の一つであり象徴的な機材であるタンデム自転車の体験会を実施し、パラサイクリングの魅力や本市とナショナルチームとの関わりの紹介を通じて、パラサイクリングを支援する人の輪を拡大する。					対象	市民に限らず、パラサイクリングや自転車に興味のある人	
						手段	タンデム自転車体験会の実施、パラサイクリングナショナルチームの紹介	
						意図	パラサイクリング及びナショナルチームのファンの拡大、本市のPR、障がい者スポーツへの理解促進	

事業期間	R1 年度	～	R7以降 年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
支出内訳	H30(決算額)		R1(決算額)		R2(決算額)		R3(予算額)	
			報償金	303千円	報償金		報償金	86千円
			消耗品費	58千円	消耗品費		消耗品費	30千円
					修繕料		修繕料	82千円
			保険料	41千円	保険料		保険料	45千円
			著作権等使用料	5千円	著作権等使用料		著作権等使用料	5千円
			機械器具費	303千円	機械器具費		機械器具費	
合計			710千円			248千円		
財源内訳/割合	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他		100/100	710千円				
	一般財源							248千円
合計			710千円			248千円		
人工数			0.20人	759千円	0.16人	927千円		
総経費			1,469千円					

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			H30	R1	R2	R3
1	タンデム自転車体験会	活動		6回 0回 0%	6回 1 16.7%	6回
2						
3						

成果	パラサイクリング合宿の際に1度タンデム自転車の体験会を小野田小学校で行った。				
R4年度に向けた課題及び改善策	パラサイクリングの普及啓発のために出前講座などの実施も含め、より多くの体験会を実施する。そのためには、自転車の購入がもう少し必要である。				
目標達成度	C	R4年度に向けた方向性			
		成果	拡充	コスト	拡大
特記事項					